第5学年「みどりの時間」学習活動案
平成14年12月4日（水） 第5授業
授業者 星 雄子 千明 勉
柏 美穂 田口 幸久
場所 体育館

1 単元名 「のこそう未来へ ぼくらのまちを」

2 単元について
(1) 児童の実態
【学び方やものの考え方】
・問題解決のために必要な資料を収集することができる。
・数多なる表現方法を経験し、使うことができる。
・友達と協力して調べたり、話し合ったりできる。
・友達の考えを聞いて、多面的に物事をとらえ、考えを深める力は不十分である。
・自分の考えを効果的に伝えるために表現方法を選択しようとする意識が十分でない。
・見通しをもって学習を計画的に進めることができるが、足に付いている。

【主体的な態度】
・問題解決のために、観察や調査などをすることに意欲である。
・みどりの時間を楽しみ、自分たちを発揮し、意欲的に活動している。
・課題を見つけず力が、まだついている。

【自己の生き方】
・友達の考え方を、素直に認めたり、称賛することができる。
・学習してきたことが、自分との関わりでとらえられる視点が、不足している。
・その人の考えを自分に取り入れようとする意欲に欠ける。

(2) ふれあい 自分と「人・自然・社会」とのつながり
地域は自然環境に恵まれているが、どこにどのような自然があるのか等、地域のことを詳
しい児童は多くない。そして、年々住民も増えているが、自然も少しずつ失われ、環境の
問題も起きている。
5年生では、年間を通して地域と環境について取り上げる。豊かな三室の自然環境には
たらさみかけることを通じて、古くから住んでいる地域の人やお店で働く人たちにインタビュー
をしながら、地域や社会の人々とふれあっていく。そんな中で、地域に生きる自分とのつながり
を意識しながら、地域のふれあいとともに三室の自然環境を見つめ、守っていこうとする実践
的意欲と態度を育てたい。

(3) 単元設定の理由
1学期のみどりの時間では、「三室ワンダーランド～ぼくのわたしのおすすめスポット」と
題して、自分たちが住んでいる地域を調査した。児童は、三室には動植物や昆虫、木々など、
自然が豊かにあることにあらためて気づき、緑豊かな地域に対して、よりいっそうの愛着心を
もつことができた。しかし、近年、環境になっている環境破壊は、三室でも見られ、地域の自
然がどんどん破壊されてきている。
そこで本単元では、大好きな地域の自然を少しでも残していくために、環境破壊の問題を大
きく「酸性雨」「温暖化現象」「ゴミ問題」「河川の汚れ」に分け、「ふれあい」段階では、一
般的にこれからが起こる主な原因について調べ、新聞にまとめた。さらに、それらについて、地
域の中ではどんな問題があるのかを歩きながら調査したり、その原因を追求したりすることを
通じて、環境を守り、防ぐための自治体や地域の人たちの努力などについて調べたいと考えた。
「ふれあい」活動では、三室の自然やまちのよさを大人になっても残していくために、日常生活の中で自分たちができることは何かを考え、まちの自然環境を守り、よりよくしていこうという実践をする。これらのことを通じて地域の人たちとふれあい、地域を大切にしていこうという態度を育てたいと考え単元を設定した。
3 単元の目標
【学び方やもの考え方】
地域の環境を調べたことの基に、そこからさらに自分の課題をもち、自分の目当てにあった情報選び、収集したり、問題解決の過程や結果を報告書や作品にまとめて、わかりやすく発表できる。
【主体的・創造的な態度】
地域や人々にすすんで関わったりながら、自分の課題を見つけ解決するために、調査したり工夫をして伝えようとした。
【自己の生き方】
地域の環境問題を考え、調査する活動を通して、地域の問題が地域全体とつながっていることが分かって、友達や地域の人たちと協力しながら、身近な自然やまちを大切にしようと思う活動する。

4 単元とテーマとの関わり
研究テーマ
生きる力をはぐくむ学習の創造
〜一人一人の「生きる力」を伸ばす評価と支援の工夫〜

【学び方やもの考え方】
問題解決するために、必要な情報を集めたり、判断したりする力
自己の思いを豊かに表現する力

本単元「ふるえる」において、身の回りにある環境破壊の問題を大きく4つ取り上げ、その現状と原因を資料を集め、新聞にまとめた。さらに、パート内外で読み合いながら、内容、表現の仕方などについて意見を新聞の裏に書き（相互評価）、問題解決に役立てるよう支援をするようにした。「きっかけ」段階では、地域の環境に視点を置き、現状や原因について、同じテーマ同士でグループリングをし、「調べる」活動を組んだ。その際、自分たちの調べたいことは何なのか、どうすれば問題意識が高まっていくのかを学習カードなどで押さえさせてながら、個々に支援するようにした。
「まとめる（伝える）」段階では、調査したことをわかりやすくまとめ、自分たちのまちの環境を大切にしようということを、友達や地域の人たちに「伝える」活動を組んだ。自分たちの思いをかかめてもらうためにどうしたらよいのかを話し合い、教員に支援したり、お互いに評価し合ったりしながら、どのような方法や手段が有効かを判断し、協力しながらよりよい方法で発表ができるようにしていきたい。

【主体的・創造的な態度】
課題を見いだし、主体的に最後まであきらめずに、問題解決や探究活動に取り組もうとする力

自分なりの課題を見つけ、最後まで追及していくために、学習カードを作成し、読みを通して計画を立て活動できるようにする。調べ方が分からない児童については、個別にアドバイスを与え、支援するようにした。自分の調べている環境問題の現状、他の問題とのつながり等、思考にそった追求がわかるように、学習カードやファイルの仕方（ポートフォリオ）を工夫した。また、お互いが作品を評価し合う、問題解決に取り組むことを通じて、児童が自分自身の考え方、表現の仕方のよさを発見したり、新たな課題に気づき、意欲的に調べられるよう支援・評価を展開していきたい。

【自己の生き方】
自分の生き方について考え、夢や願いの実現に向けて行動しようとする力
「ふるえる」〜「まとめる」活動では、それぞれ4つの環境問題の現状・原因を追うことで、自分たちの生活と環境が深くつながっていることに気づいていく。そのことで、自らの生活を振り返り、地域の環境を守るために行動を起こす意欲が高まると考えられる。さらに、「ふるえる」場面では、調べ、伝えたことを自分たちにも置き換え、自分や家族の生活を見直したり、地域に呼びかけたりして、行動する意欲を高めたい。
<table>
<thead>
<tr>
<th>過程</th>
<th>活動内容</th>
<th>支援</th>
<th>評価</th>
<th>学習形態</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ふれる</td>
<td>○環境科学国際センターを見学し、世界や身の回りの環境の問題を知る。③</td>
<td>- 環境国際センターで環境の問題について概略をつかむ</td>
<td>⑤身のまわりの自然環境に興味がもたれかた</td>
<td>各クラス</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○ネーチャーゲームを楽しみ①</td>
<td>- スクラムで環境問題にどのように理解する</td>
<td>- 学校の自然を楽しめるように、ゲーム形式にする</td>
<td>各班テーマ別で4つに1つずつ</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○４つの大きな環境問題について知り、原因を調べる②</td>
<td>①温暖化 ②酸性雨 ③ゴミ問題 ④河川の汚れ</td>
<td>⑤情報をよく生かせたか</td>
<td>⑤情報を利用、調べ方について助言する</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○新聞に書いて知らせる②</td>
<td>- 検討を深めるため、事前準備が必要な助言する</td>
<td>⑤原因や友達のよい点に気づくことができたか</td>
<td>⑤原因や友達のよい点に気づくことができたか</td>
</tr>
<tr>
<td>つかむ</td>
<td>○友達の書いた新聞を見合ったり、話し合ったりする。①</td>
<td>⑤友達の書いた新聞を読み、話し合う。①</td>
<td>- 理解する段階では、データについては概説する。</td>
<td>テーマ別（個人）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○地域にも目を向け、地域の環境に起こっている問題について話し合う。②</td>
<td>③自己を含む視点で、話し合いに参加できたか</td>
<td>○地域の環境問題について、誰か方、調べ方、防ぎ方などについて考える。②</td>
<td>⑤地域の環境問題について、自己を含む視点で、話し合いに参加できた</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○地域の環境問題について、誰か方、調べ方、防ぎ方などについて考える。②</td>
<td>③自己を含む視点で、話し合いに参加できたか</td>
<td>⑤地域の環境問題について、誰か方、調べ方、防ぎ方などについて考える。②</td>
<td>⑤地域の環境問題について、誰か方、調べ方、防ぎ方などについて考える。②</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○調査活動に出かける。②</td>
<td>⑤視点をもって、調査活動に参加したか</td>
<td>②視点をもって、調査活動に出かける。②</td>
<td>②視点をもって、調査活動に出かける。②</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○検証したり、分かったことをまとめ、発表したり、話し合ったりする。②</td>
<td>③調査活動をこれからの活動に生かそうとしているか</td>
<td>③調査活動をこれからの活動に生かそうとしているか</td>
<td>③調査活動をこれからの活動に生かそうとしているか</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○調査活動第２回目の計画を話し合う。①</td>
<td>⑥調査活動から、もっと調べたいことを導き出すようにする。</td>
<td></td>
<td>⑥調査活動から、もっと調べたいことを導き出すようにする。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○第２回調査活動に出かける。②</td>
<td>⑥安全面を常に注意させる</td>
<td>⑥安全面を常に注意させる</td>
<td>⑥安全面を常に注意させる</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○新たな発見、疑問点などを話し合い、３回目調査活動</td>
<td>⑦回目の活動を生かして、視点をもって調査活動に参加したか</td>
<td>⑦回目の活動を生かして、視点をもって調査活動に参加したか</td>
<td>⑦回目の活動を生かして、視点をもって調査活動に参加したか</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>⑧活動をあまり広げすぎないように留意する</td>
<td>⑧活動をあまり広げすぎないように留意する</td>
<td>⑧活動をあまり広げすぎないように留意する</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>必要に応じて、アドバイスを与える。また、実施面には十分注意させる。</td>
<td>必要に応じて、アドバイスを与える。また、実施面には十分注意させる。</td>
<td>必要に応じて、アドバイスを与える。また、実施面には十分注意させる。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>⑨調査活動を通じ、地域の環境の問題点や人々の努力、工夫について気づいたり、</td>
<td>⑨調査活動を通じ、地域の環境の問題点や人々の努力、工夫について気づいたり、</td>
<td>⑨調査活動を通じ、地域の環境の問題点や人々の努力、工夫について気づいたり、</td>
</tr>
<tr>
<td>課題別グループ</td>
<td>まとめる・伝える</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----------------</td>
<td>----------------</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>第3回調査活動に出かける。②</td>
<td>○第3回調査活動に出かける。②</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>新たな発見、疑問点などについてまとめ、地域の環境について話し合う。①</td>
<td>○新たな発見、疑問点などについてまとめ、地域の環境について話し合う。①</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>話し合ったことなどをまとめて、「環境調査報告会」への準備をする。⑤（本日４／５）</td>
<td>語ったことや発見したことをどのようにまとめるかを話し合うことができたか</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>作成した資料などについて話し合い、手直しをする。③</td>
<td>・自分が関わりでとらえられるようにする。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>二室の「環境調査報告会」をする。②</td>
<td>・調査してきたことをわかりやすく知らせるための支援をする。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>「環境調査報告会」について話し合い、地域と自分のつながりについて考える。②</td>
<td>・友達のアドバイスや良い点を自分たちに取り入れることができたか。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>２学期の活動をぶりかえり、感想を書く。②</td>
<td>・わかりやすい資料の作成に取り組ませる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>まとめ</td>
<td>○今まで活動してきたことを、友達と協力しながら、発表ができたか。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>まとめ</td>
<td>地域の環境問題について、興味をもって相手にわかりやすく伝えようとしているか。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>自分とのつながりについてとらえることができるか。</td>
<td>・満の設定を考えるようにする。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>自分と環境について考えられない子には自分達の生活について振り返らせる。</td>
<td>個人</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>《3学期》</td>
<td>○2学期の活動を、これからの自分の生活に生かそうとしているか。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>啓蒙活動の準備をする。④</td>
<td>・冬休みの生活の過ごし方などにも、目を向けられるようにする。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>啓蒙活動：下寒い活動、ポスター作成、生活情報を探求する活動など</td>
<td>お世話になった方々へは、お礼の手紙を書き、感謝の気持ちを述べる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>第1回啓蒙活動をする。②</td>
<td>課題別グループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>第2回啓蒙活動をする。②</td>
<td>学年全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>○今までの活動を生かし、すすんで活動に取り組んでいるか。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・地域の人たちとも、一緒に活動に取り組みたい場合は、前もって連絡をしておく</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>冬休みや今までの活動を振り返るようにする</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・事前の準備活動を促す</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
6、本時の学習活動

(1) 目標
- 酸性雨、地球温暖化、ゴミ問題、河川の汚れについて、身近な地域で調べ、まとめたことを、
よりわかりやすく伝えるために、友達の意見を集め、見直したり、修正したりしようとする。
（学び方やものの考え方）

(2) 展開（29/46時間）

<table>
<thead>
<tr>
<th>学習活動</th>
<th>評価と支援の工夫（◎評価・支援）</th>
<th>時間</th>
</tr>
</thead>
</table>
| (全体)  | 1. 本時の学習内容を知る。 | 本時の学習内容を確認することで、見通しをもって
するようにし、学習への意欲を図る。 | 8 |

調べてきたことをもっとわかりやすく伝える工夫しよう

<table>
<thead>
<tr>
<th>調べてきたことをもっとわかりやすく伝える工夫をしよう</th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
</table>
| - 友達からの意見を聞き、よりわかりやすい発表にして
することを伝える。 |  |  |
| - 相互評価のための、ペアのグループを事前つくって
おくようににする。 |  |  |
| - 発表の場の設定と時間配分、学習カードの使い方
について説明する。 |  |  |

＜課題別グループ＞
2. 身近な地域の環境について調べたことを、グループごとに発表し、内容や発表の仕方につい
てアドバイスをし合う。

アドバイスの視点
- 内容について
- 資料について
- 聞きやすさについて

声、間の取り方など、相手に分かるような発表の
仕方を意識できるよう助言する。

◎友達の発表のよいところや、もっと工夫できると
ころを教え合うことができる。（観察）
- アドバイスカードの視点にそって、気づいたこと
から書いていくように助言する。
- 活動を通して、それからの取り組みの方向につい
て気づかせる言葉がけを心がける。

0 友達の学習内容を取り入れ、よりわかりやすい伝え方
を工夫することができる。（観察）
- 足りないところを付け加えたり、調べ直したりす
るように助言する。
- 友達の発表のよいところを、取り入れていくよう
にする。
- アドバイスを生かして活動している児童を称賛す
る。
- 発表の仕方が十分でない児童には、もっとわかりやす
く伝える練習を繰り返すよう助言する。

◎自分の活動を振り返り、次の活動に生かそうとし
ている。（自己評価カード）
- 本時の活動やめあてが何かを明確にして、進んで
取り組むことができたかを振り返るようにする。
- 次の活動への見通しもないと児童には、友達か
ら教えてもらったことを思い出すよう助言する。

12